

政策の柱	IV 市民の豊かな暮らしを支える活気と活力のある社会を築くために	政策名 (基本施策名)	1 地域産業の創造性・発展性を高める	施策名	① 地域特性を生かした産業集積の促進
------	----------------------------------	----------------	--------------------	-----	--------------------

1 施策の取組状況

主要な取組内容	施策指標の実績とH24末の見通し	指標の達成率	施策指標等 (最上段が、総合計画に基づく指標)	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)						達成率
					H19	H20	H21	H22	H23	H24	H23
					基準年	実績	実績	実績	実績	見込み	H24見通し
◆地域特性を生かした産業集積の促進のため、産学官の連携や農商工連携などの新たなネットワークによる地域産業の活性化を進めている。 ◆地域特性を生かした産業の振興のため、国の農・商・工連携支援事業や、県の研究開発補助事業などの共同研究開発等プロジェクト支援事業を活用し、地域の中小企業による農・商・工連携や技術強化などに取り組んでいる。	◆地域特性を生かした産業の創出のための共同研究開発等プロジェクト数は、社会経済環境が厳しい中、企業の投資が抑えられる傾向にあり、近年減少傾向となっている。 ⇒平成24年末の状況としては、より一層、共同開発のメリット等の周知や支援体制の強化により、件数は増加すると見込む。	75.0%	共同研究開発等プロジェクト数	件数/年	20	20	20	20	20	20	75.0%
					19	21	28	20	15	20	100.0%
課題	◆次世代モビリティ産業集積促進事業については、企業ニーズに対応した支援の展開が課題となっている。 ◆企業誘致推進事業については、誘致活動の強化が課題となっている。 ◆うつのみやアグリネットワーク推進事業については、開発商品の認知度向上や品質向上が課題となっている。 ◆企業の持続的成長・発展を図るため、産学官や産業間連携などのネットワーク構築の更なる強化が課題である。		市民意識調査(重要度・満足度)		H20	H21	H22	H23			
					重要度	50.2	49.1	52.0	60.4		%
					満足度	21.0	15.5	14.9	21.9		%

2 重点事業の進捗状況

事業名	スケジュール		事業の進捗状況とH24末の見通し	課題
	前期	後期		
次世代モビリティ産業集積促進事業	→	→	◆人材育成戦略のWRO(ロボット)地区予選会や企業体験見学会、イノベーション戦略の超音波研究会の参加などにより、人材の拡大を図っている。 ⇒人材育成戦略については、より効果的な事業運営により、ものづくりに興味を持つ人材の拡大を図るとともに、イノベーション戦略では、企業ニーズのマッチングにより新たな生産技術の向上が図られる見通し。	◆昨今の国内外の社会経済環境の劇的な変化の中、本市の現状を踏まえながら、的確かつ迅速に戦略を見直していく必要がある。
(仮称)産業観光情報プラザの整備	→	→	◆公共の中核となるコンベンション施設整備と、それを補完する公共機能について、外部懇談会において提言書の提出に向けた機能検討を行い意見集約を進めている。 ⇒補完機能の一つとして、産業振興機能があげられており、懇談会提言書を踏まえ、必要な機能の検討を行っていく。	◆施設整備については、民間動向の把握や経済動向を確認しながら検討する必要がある。
アグリネットワーク推進事業	→	→	◆H23年までに創出された52プロジェクトのうち、21件が商品化されており、商談会・物産展への参加・出展支援の結果、販路が着実に広がっている。 ⇒現在進行中のプロジェクトも予定通り商品化が見込まれ、宇都宮をPRするアイテムがさらに増える見通しである。	◆開発商品の品質向上を図るため、開発段階に応じたアドバイスができる専門家の相談体制を整備する。開発商品の認知度向上のため、ブランド農産物等と連携したPRを展開する必要がある。

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)					重点度 (A~C) ※施策目標に対する寄与度	事業の方向性	施策目標を達成するための取組方針
						H20	H21	H22	H23	H24			
						実績	実績	実績	実績	実績			
1	企業誘致推進事業費	企業誘致推進事務	H14	訪問・電話案内	件	100	100	100	100	100	A	継続	引き続き、企業訪問や関係機関との情報交換を強化するとともに、これまでの訪問実績等を検証し、より効果的な企業訪問活動等を検討しながら、企業誘致を働きかけていく。
						105	131	124	171				
2	企業立地・拡大再投資補助金	市内の工業団地等に立地・増設を行う成長分野の製造業、基盤的技術産業、中小製造業等	H14	制度活用企業数	社	10	10	10	10	10	A	継続	補助制度を効果的に活用するため、企業へのアプローチを積極的に実施し、制度の周知に努めていく。
						5	6	2	2				
3	うつのみやアグリネットワーク推進事業補助金	うつのみやアグリネットワーク	H20	プロジェクト件数	件	10	15	15	15	6	A	継続	プロジェクト創出機能の充実強化を図るため、専門家体制の充実や、商品化に至らなかったプロジェクトの支援を行うほか、ネットワーク会員数が増加していることから、商工会議所や農協などの関係機関とも連携しながら、プロジェクト件数を増加させ、課題解決に向けた検討を進めていく。
						14	12	10	7				
				ネットワーク会員数	人	100	105	110	115	200			
						98	126	144	173				

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値（上段：目標値，下段：実績値）					重点度（A～C） ※施策目標に対する寄与度	事業の方向性	施策目標を達成するための取組方針
						H20 実績	H21 実績	H22 実績	H23 実績	H24 実績			
4	次世代モビリティ産業集積促進事業交付金	次世代モビリティ産業集積推進会議	H16	コーディネーターによる企業訪問数	件	70	100	100	100	100	A	継続	企業訪問については、これまでの自動車、航空宇宙、ロボット、情報通信に加え、「うつのみや産業振興ビジョン」に基づき、新たな企業を訪問することにより、異業種連携を図っていく。 フォーラム等への参加者数については、23年度から超音波技術を広く周知するためのフォーラム開催を見直し、より専門性の高い、実践的な研究会の開催に切り替えた。今後も、産業集積に繋がる効果的な実施手法等を検討していく。
						65	67	54	33				
				フォーラム・交流会等への参加者数	人	200	200	200	200	200			
						32,769	822	382	148				
5	産業振興機能強化事業	市内の農業、商業、工業、観光などの産業関連事業所等	H22	産業振興ビジョンの策定	件	—	—	—	1	—	A	継続	ビジョンの具体化に向けた検討・協議を行う場として、庁内組織の委員会と庁外組織の協議会を設置し、効果的な施策事業を検討していく。
				産業振興懇談会の開催 ※H22予算はビジョン策定に含まれる	件	—	—	2	4	2			
					件	—	—	2	4				
				起業・創業相談設置	件	—	—	—	1	1			
						—	—	—	1				
6	うつのみやアグリファンクラブ推進事業補助金	うつのみやアグリファンクラブ	H20	情報発信	回	4	4	4	4	3	B	継続	ファンクラブ会員の増加を図るとともに、農業や農産物への理解を深めてもらう情報を提供し、アグリネットワークで生み出された商品等に対する会員のモニター機能の充実を図っていく。
						4	4	4	4				
				アグリファンクラブ会員数	人	2,000	3,000	3,000	4,000	4,000			
						3,039	3,373	3,508	3,577				
7	宇都宮「食の街道」づくり推進事業補助金	宇都宮「食の街道」推進協議会	H21	スタンプラリー完走者数	人	—	500	500	—	—	B	継続	地域産業の発展を目指し、農商工業者が連携し、食を中心とした地域資源を活用していく。
						—	284	67	—				
				フェア・イベントへの参加数 （「食の街道」のPR）	回	—	—	—	10	15			
						—	—	—	13				
8	産学連携推進事業共催負担金	うつのみや産学官連携推進ネットワーク（宇都宮商工会議所）	H11	産学官連携推進事業の実施回数	回	4	4	4	4	4	B	継続	運営委員会等を通じて、ネットワーク内の組織の連携やコーディネート強化し、企業のニーズを的確に捉え、マッチングに結びつく手段の見直しを促しながら、負担金による連携を継続していく。
						3	4	1	1				
				事業参加者数	人	100	100	100	100	100			
						76	97	29	50				
9	地域産業情報化推進事業	宇都宮おもてなし情報発信事業推進協議会	H21	入込客数	千人		13,885	14,259	14,659	15,000	B	継続	市民や観光客が求める情報を提供し、利便性を向上させるために、コンテンツの追加・更新を行うとともに、自立運営に向けた財源の確保に努めていく。
								13,879	13,531	12,741			
10	栃木科学・技術シンポジウム共催負担金	栃木科学・技術シンポジウム運営委員会（宇都宮大学）	H13	栃木科学技術シンポジウム開催	回	1	1	1	1	—	C	廃止	シンポジウムの参加者が減少傾向にあり、効果的な事業展開ができていないと考えられることから、平成23年度をもって廃止とする。
						1	1	1	1				
				参加者数	人	200	200	200	200	—			
						170	163	125	89				
11	高度技術産学連携地域対象事業補助金	(財)栃木県産業振興センター	H13	高度技術振興事業のうち人材育成事業の実施回数	コース	20	20	20	20	20	C	継続	高度技術産学連携推進地域の果たす役割が変化してきていることから、起業から研究開発、事業化まで総合的かつ広域的に支援できる唯一の団体として、手段、手法を見直ししながら、補助を継続していく。
						21	23	23	17				
				高度技術振興事業のうち人材育成事業の参加者数	人	500	500	500	500	500			
						517	552	533	461				
12	販路開拓支援事業補助金	市内の産業等に関する協同組合等の団体	H23	補助件数	件	—	—	—	6	4	C	継続	他の補助制度とともに、多くの活用が見込まれる補助内容や効果的な周知方法を検討していく。
						—	—	—	1				